



# 事例4:一枚の記録表による管理(製造業者)

## ○取組事業者

- ・製造業者(蜂蜜)
- ・従業員数: 11名

## ○取引の概要:

- ・養蜂業者から原料となる蜂蜜(一斗缶)を仕入れ、原料ロットを混合・濾過した上で充填する。

①原料使用の際、原料使用記録表に使用日、原料名、ロット番号等を記録



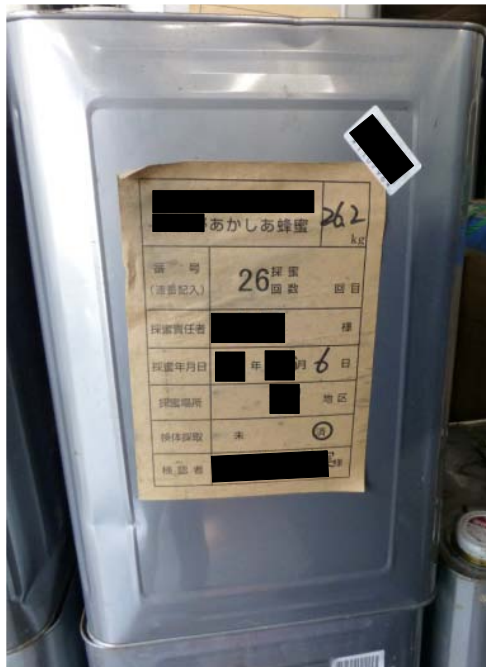
②製品製造の際、製造記録表に製造日、製品名等を記録



③製造終了後、原料使用記録表と製造記録表により、原料のロット番号と製品のロット情報(製造日)をリンク付けした記録表を作成



どの原料からどの製品が製造されたかを一見して確認可能



製造日: 9月

原料ロット番号

品名	ロット番号	製造日	ロット番号
国信あ	11-555~560, 562~565, 561, 595, 596, 598, 601, 605, 607, 611, 622, 624~632, 742, 743, 832, 943, 944, 946~948	9月	36
国信こ	11-41	9月	1
国信あ	11-800, 802~809, 794, 11-927, 928, 930~942	9月	25
アムカタダ	221~224	9月	4
アム	10	9月	1
アム	213	9月	1
アム	220	9月	1

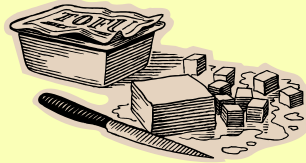


(※)当該事業者においては製品の賞味期限を製造日から2年としており、製品の賞味期限からロット情報である製造日を特定。

## 事例5: 密閉フィルムの色による識別(製造業者)

### ○取組事業者

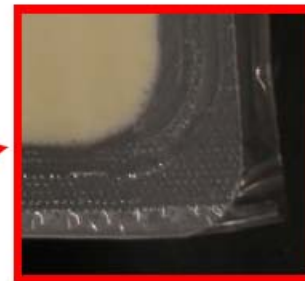
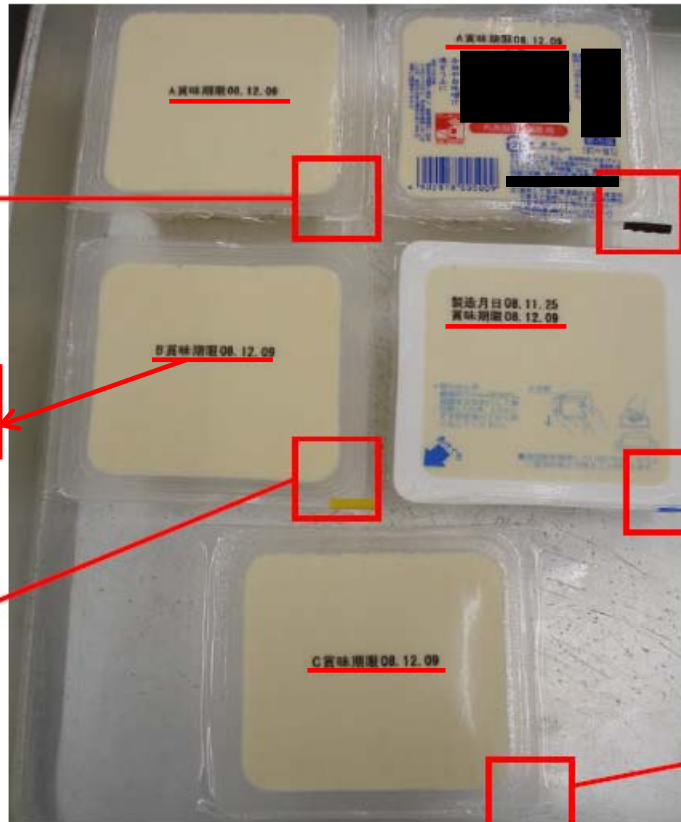
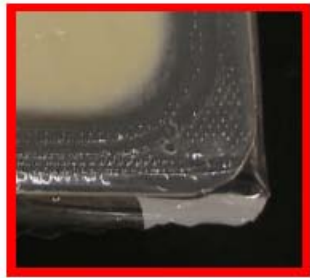
- ・製造業者(豆腐、納豆)
- ・従業員数: 291名



### ○取引の概要:

- ・大豆商社から原料となる大豆を仕入れ、主に消費者向けの充填豆腐(1製品3パック)を製造し、自社物流センターを通じて出荷している。

### ○密閉フィルムの光電管マーク(\*)を製品の種類ごとに色分け



- ・製品の帯封を捨ててしまった消費者からのクレームに対しても、密閉フィルムの色で製品名を識別でき、密閉フィルムに印字された賞味期限と充填ライン記号からトレースが可能
- ・製品によって容器が共通の場合でも、半製品(1製品3パックとなる前のバラの状態のもの)を取り違えないよう工夫

(※)光電管マーク:印刷、加工のずれを防止するため機械に読み取らせる目印



## 事例6:原料ロット番号の迅速な検索が可能な記録整理(製造業者)

### ○取組事業者

- ・製造(生中華麺、生パスタ等)等
- ・従業員数: 9名

### ○取引の概要:

- ・小麦粉、かんすい等の原料を仕入れ、生中華麺、生パスタ等の生麺の少量他品目生産を行い、外食産業等に出荷している。

- ①多岐にわたる副原料については、当日製造する全ての製品に共通の「製造日報(副原料)」(A4紙1枚)にロット番号を記載

製造日報(副原料) 1-8-2C  
12年12月20日(木) 担当者名 [REDACTED]

	使用ロット		
	1	2	3
食塩	121015	—	
あらしお	QXRQ0		
着色料	121025		
[REDACTED]	—		
PG	10492	—	
アルコール	121213	F	
卵白 K	2013416		
卵白	120926		
[REDACTED]	1303/201202A		
[REDACTED]	5/121025		
[REDACTED]	7/083012/1208	5/0710/1129	—
全卵	120910		
[REDACTED]	145020029	N502/001	
[REDACTED]	0933020		
[REDACTED]	—		



- ②トレーサビリティに活用する記録を1か月程度、製造記録等の種類ごとに事務室の棚に留め置き、直ちに検索できるよう整理



製品の賞味期限から製造日を特定し、原料のロット番号を直ちに検索可能(30分以内)

○その他の経営上のメリット  
トレーサビリティに取り組んでいることを取引先にPRすることにより、販売先や消費者から信頼・評価を受けていると実感しており、営業面でも役立っています。

